

Brown Bag Seminar

No. 052

オンライン
録画期間限定公開
(Zoom)
登録はこちら



2022

6.8 (水)

12:10

12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_zvQ0RUH6SA-251ICPIn8cw

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

事前冷却が暑熱時の体温調節反応と作業パフォーマンスに及ぼす影響について

司会：錢 琨 准教授 (Q-AOS 創発推進コーディネーター)



前田 享史 教授

芸術工学研究院 人間生活デザイン部門

3

すべての人に
健康と福祉を



我々は様々な温度環境の中で生活し、常にその環境に適応して生きています。夏期ではその状態が破綻し、日常生活や労働の場面において熱中症となることがあります。また、感染予防の防護服やマスクなどの着用で熱中症リスクは増大します。本セミナーでは、ヒトの体温調節機能を概説し、熱中症予防の一つであるプレクーリングが暑熱環境における生理反応と作業効率に及ぼす影響についての研究事例をご紹介します。

1998年3月に九州芸術工科大学大学院博士後期課程を修了し博士(芸術工学)を、2005年9月に福島県立医科大学より博士(医学)の学位を授与されました。1997年10月より福島県立医科大学医学部衛生学講座助手、2005年同大学講師、2006年10月北海道大学大学院工学研究院准教授を経て、2015年4月より九州大学大学院芸術工学研究院教授として着任しました。2020年度日本生理人類学会優秀研究賞を受賞。専門は、環境人間工学、生理人類学、環境生理学、産業保健。生理機能から見た人間にとって真に「健康」で「快適」で「適応的」な環境・生活の提案を目指して、環境要因に対するヒトの生理反応とその個人差についての研究を行っています。

Key Words

暑熱環境

生理反応

作業パフォーマンス

プレクーリング